

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.4
Q-1 室内環境			0.40			3.1
1 音環境		3.3	0.15	-	-	3.3
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.4	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能	ALC100+PB12.5 2枚貼り(両面)	4.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音	主に壁・天井へ吸音材を計画している。(床は一部)	4.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.3	0.35	-	-	2.3
2.1 室温制御		2.0	0.50	-	-	
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		1.0	0.50	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		2.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 屋光利用		1.8	0.30	-	-	
1 屋光率		1.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 屋光制御	ブラインド+遮光フィルムにより屋光抑制している。	4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		4.0	0.15	-	-	
1 照度	概ね750ルクス以上で計画。	4.0	1.00	3.0	-	
2 照度の均一性		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		4.2	0.25	-	-	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	JIS、JAS企画のF☆☆☆☆かつ、VOC放出量の少ない建材を全面使用	5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 タンク・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	喫煙室設置	5.0	0.50	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.6
1 機能性		3.6	0.40	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.60	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応	OA機器用コンセント容量45VA/m ²	4.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	-	-	
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.8mにて計画	4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース	喫煙コーナー、自動販売機、リフレッシュスペースを計画	5.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔	別紙 設備機器・配管対応年数表を参照	4.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		3.4	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備	非常用電源設備を設け、電源設備を地下空間に設置していない。	4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	通信手段の多様化を図り、機器スペースを浸水の恐れのない場所に計画	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				4.1	0.29	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり				4.6	0.31	-	-	
1 階高のゆとり	階高4m以上			5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	比率≧0.17で計画			4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり	両替スペース12100N/㎡、金庫室39300N/㎡で計画			5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース				3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	評価する取り組み5ポイント			5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性								3.3
LR-1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制	省エネルギー計画書による			5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.5	0.20	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	トップライト4箇所設置			4.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化				1.0	0.30	-	-	1.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水便器自動洗浄機器を計画している。			4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材				4.1	0.85	-	-	4.1
2.1 資源の再利用効率				5.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	鉄骨-電炉鋼利用 コンクリート-再生骨材			5.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	二重床-廃パーティクルボード利用			5.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	別紙 製品安全データシート参照			5.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	OAフロア			4.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避				3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	ハロン消火剤使用の設備を採用していない。			4.0	0.33	-	-	
2 断熱材				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 大気汚染防止	ガス給湯器のみ燃焼機器使用			4.0	0.15	-	-	4.0
2 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.15	-	-	3.0
2.1 騒音				3.0	0.33	-	-	
2.2 振動				3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭				3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制				3.0	0.15	-	-	3.0
3.1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制	屋外照明点灯時間を適切に行っている。			5.0	0.10	-	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善				2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.15	-	-	3.5
6.1 雨水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制	適切な駐車スペースを確保、及び2つの道路より車両入退出が可能			5.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷				3.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		事務所	-	-	-	面積按分 総合スコア
		2596 ㎡	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの 高効率化	1.0	ERRによる評価	-	-	1.0
		-	個別設備による評価	-	-	
3.1	空調設備	1.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	3.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	3.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-